

私立大学図書館協会 2005 年度第 6 回国際図書館協力委員会議事要録

日 時：2006 年 3 月 10 日（金）13:30～16:00

場 所：関西大学図書館 第 1 会議室

出席者：中元 誠（早稲田大学）、櫻井英賢（駒澤大学）、西尾雅樹（南山大学）、
三谷好隆（龍谷大学）、影山幸子（関西大学）

欠席者：植田英範（国士舘大学）

事務局：赤木一夫（関西大学）、堀口和弘（関西大学）

オブザーバー：市原憲厚（関西大学図書館次長）

審議事項：

1 2006 年度海外派遣研修について

委員長から標記の件について、資料に基づき次の説明があった。

配布資料：「2006 年度海外派遣研修申請書」
「推薦状」

①募集期間を 2 月 28 日まで延長したところ、1 名の応募があった。

②本日 15 時より選考面接を行う。

選考面接の後、慎重に審議の結果、委員会として次の者を 2006 年度海外派遣研修参加者として会長校に報告することとした

高井 響（立命館大学）

2 イリノイ大学モーテンソン・センターとの契約更新について

委員長から標記の件について、資料に基づき次の説明があった。

配布資料：「モーテンソン・センターとの協定書（案）」

①内容は前年に締結したものと同じで、期間だけ変更（2006 年 4 月～2007 年 3 月）するものである。

②4 月初旬に更新手続を開始する。

③今年度の協定締結時に、委員会の任期に契約期間を合わせることによる事務の効率化の提案があった。今回の更新にあたり各委員の考えを披露いただきたい。

審議の結果、次のとおり了承された。

- ・今回は 1 年更新のままで締結する。
- ・今後については、会長校及び委員の任期に合わせて 2 年とするなど次の更新期までに検討することとする。
- ・署名欄の委員長の肩書きの下に「Kansai University」を挿入する。
- ・国立大学図書館協会もモーテンソン・センターに 1 名派遣させる動きがあることから、担当の人材研修班にコンタクトをとり、4～5 月頃に一度懇談する機会を持つこととする。

3 2006 年度国際図書館協力シンポジウムについて

委員長から標記の件について、資料に基づき次の説明があった。

配布資料：Sarah E. Thomas 氏の紹介（コーネル大学図書館 HP）

Michael A. Keller 氏の紹介（スタンフォード大学 HP）

- ①日時、場所、テーマ、講師等について具体的に検討したい。
- ②配布資料は前回の委員会で名前が挙がった候補者について紹介するものである。
- ③時期としては、現時点では 2004 年度までのような 5 月開催は難しく、今年度と同じく 11 月頃が適当であると考ええる。

意見交換ならびに審議の結果、次のとおりとすることで了承した。

- ・ Michael A. Keller 氏については、すでに国立情報学研究所が招聘したので候補から外す。
- ・ 日程は 11 月頃、会場は東西交互開催の慣例から 2006 年度は東地区（委員会メンバー所属校）で行うことを基本とし、国士舘大学に打診する。
- ・ 講演者に依頼するためには、テーマを絞る必要があるので、3 月末までにメールで講演者を含めて意見交換することとする。

4 2006 年度第 1 回寄贈資料搬送事業について

委員長から標記の件について、資料に基づき次の説明があった。

配布資料：「2006 年度第 1 回寄贈資料搬送事業実施について(ご案内) (案)」
「寄贈資料搬送申請書」

- ①4 月 1 日付で会長校から加盟各校宛に文書を送付する予定である。様式は前回と同様で 5 月末日を締切とする。

審議の結果、原案どおり了承し、会長校に案内状の送付を依頼することとした。

5 2006 年度海外集合研修について

委員長から標記の件について、次の説明があった。

- ①2006 年度の集合研修について、時期、研修先等を検討し、研修先機関との交渉を始めたい。

- ②予算上、派遣できる人数は 2 名増の 7 名となっている。

審議の結果、2005 年度と同じく 10 月頃、モーテンソン・センターで研修することで交渉を始めていくこととした。なお、募集期間は、6 月から 7 月とする。

6 その他

(1) 東西合同役員会の報告

委員長から標記の件について、資料に基づき次の報告があった。

配布資料：「[国際図書館協力基金特別会計] 2005 年度決算見込」
「[国際図書館協力基金特別会計] 2006 年度予算」

- ①2006 年 3 月 3 日開催の東西合同役員会にて、第 4 回・第 5 回の委員会議案および 2005 年度決算見込及び 2006 年度予算について報告した。

- ②会長校から、国際図書館協力基金特別会計 2005 年度決算見込および 2006 年度予算が示された。

(2) 2005 年度海外派遣研修報告および山口大学からの依頼について

委員長から標記の件について、資料に基づき次の報告があった。

配布資料：「2005年度海外派遣研修報告書」

- ①「2005年度海外派遣研修報告書」が峯氏から提出された。
- ②国立大学図書館協会からの依頼で峯氏がモーテンソン・センターでの研修について広島大学で講演したところ、聴取された山口大学学術情報部長より山口大学図書館協議会のホームページに講演資料を掲載したい旨の依頼があった。

委員会で検討の結果、本委員会ホームページに「研修報告書」を掲載後、認めることとした。

また、峯氏へは複数の国立大学から講演依頼等のコンタクトがあったが、今後は、私立大学図書館協会(会長校または委員長校)を通してほしい旨先方に伝えることとした。

報告事項：

1 事務局報告

(1) 2005年度寄贈資料搬送事業の進捗状況について

標記について、事務局から次のとおり報告があった。

- ①第1回未完了であった明治大学分については、現地入港手続き中で間もなく搬送完了の予定である。
- ②第2回の東海大学、立教大学分は搬送を完了。東京基督教大学分は、搬送先所在地の再確認が済み次第、搬送に取り掛かる予定である。
- ③カルチャー・ジャパンから来週早々に会長校へ請求書が送付される予定である。

(2) 国際図書館協力基金について

事務局から標記の件について、資料に基づき次の報告があった。

配布資料：「支援企業一覧」

「私立大学図書館協会国際図書館協力基金報告資料の送付について」

「国際図書館協力委員会報告資料」

- ①支援企業への報告について、各種事業の実績等の資料を作成して、次年度に入ってから送付する。

以 上